

特定品目

令和3年度毒物劇物取扱者試験問題

三重県

問題は、指示があるまで開いてはいけません。

(注意事項)

- 1 解答用紙の所定の欄に受験番号と氏名を忘れずに正しく記入してください。
- 2 試験問題は、『法規』、『基礎化学』、『性状・貯蔵・取扱方法』、『実地』で20問です。
- 3 解答方法は、マークシート方式です。解答用紙の(1)から(80)について、それぞれ選択肢から1つだけ選んでください。
- 4 問題文中で法律等の文章を引用及び抜粋する場合、促音等の記述は、現代仮名遣いとし、小文字で記載しています。
【例】「あつては、」→「あつては、」
- 5 問題文中における、「常温」は15～25℃、「常圧」は1気圧であるとして、解答してください。
- 6 試験終了後は、解答用紙を机上に置き、静かに退場してください。
- 7 問題用紙は、持ち帰ってもかまいません。
- 8 受験票は、必ず持ち帰ってください。
- 9 試験問題は、令和3年4月1日現在施行されている法令に基づき出題しています。

令和3年度毒物劇物取扱者試験問題	特定品目	法規
------------------	------	----

問1 次の文は、毒物及び劇物取締法の条文の一部である。条文中の（ ）の中に入る語句として正しいものを下欄から選びなさい。

第1条

この法律は、毒物及び劇物について、（（1））上の見地から必要な（（2））を行うことを目的とする。

第3条

3 毒物又は劇物の販売業の登録を受けた者でなければ、毒物又は劇物を販売し、授与し、又は販売若しくは授与の目的で（（3））し、運搬し、若しくは陳列してはならない。（以下、略）

第3条の4

（（4））のある毒物又は劇物であって政令で定めるものは、業務その他正当な理由による場合を除いては、所持してはならない。

下欄

(1)	1 保健衛生	2 保健管理	3 保健環境	4 保健医療
(2)	1 指導	2 監視	3 措置	4 取締
(3)	1 小分け	2 貯蔵	3 所持	4 加工
(4)	1 興奮、幻覚又は幻聴の作用	2 興奮、幻覚又は麻酔の作用	3 可燃性、発火性又は揮発性	4 引火性、発火性又は爆発性

問2 次の文は、毒物及び劇物取締法の条文の一部である。条文中の（ ）の中に入る語句として正しいものを下欄から選びなさい。

第12条

3 毒物劇物営業者及び特定毒物研究者は、毒物又は劇物を貯蔵し、又は陳列する場所に、「（5）」の文字及び毒物については「毒物」、劇物については「劇物」の文字を表示しなければならない。

第14条

毒物劇物営業者は、毒物又は劇物を他の毒物劇物営業者に販売し、又は授与したときは、その都度、次に掲げる事項を書面に記載しておかなければならない。

- 一 毒物又は劇物の名称及び（6）
- 二 販売又は授与の年月日
- 三 譲受人の氏名、（7）及び住所（法人にあっては、その名称及び主たる事務所の所在地）
- 2 （略）
- 3 （略）
- 4 毒物劇物営業者は、販売又は授与の日から（8）、第1項及び第2項の書面並びに前項前段に規定する方法が行われる場合に当該方法において作られる電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によっては認識することができない方式で作られる記録であって電子計算機による情報処理の用に供されるものとして厚生労働省令で定めるものをいう。）を保存しなければならない。

下欄

(5)	1 医薬用	2 医薬用外	3 薬用	4 薬用外
(6)	1 数量	2 成分	3 含量	
	3 含量	4 厚生労働省令で定めるその解毒剤		
(7)	1 目的	2 年齢	3 職業	4 生年月日
(8)	1 3年間	2 5年間	3 6年間	4 10年間

問3 次の(9)～(12)の設問について答えなさい。

(9) 次の文は、毒物及び劇物取締法の条文の一部である。条文中の()の中に入る語句の正しい組合せを下欄から選びなさい。

第17条

2 毒物劇物営業者及び特定毒物研究者は、その取扱いに係る毒物又は劇物が盗難にあい、又は紛失したときは、(a)、その旨を(b)に届け出なければならない。

下欄

	(a)	(b)
1	直ちに	警察署
2	直ちに	保健所、警察署又は消防機関
3	30日以内に	警察署
4	30日以内に	保健所、警察署又は消防機関

(10) 毒物及び劇物取締法施行規則第4条の4で定められている毒物又は劇物の販売業の店舗の設備の基準に関する記述について、正しいものの組合せを下欄から選びなさい。

- a 毒物又は劇物を陳列する場所にかぎをかける設備があること。ただし、常に毒物劇物取扱責任者の目の届く場所であるときは、この限りでない。
- b 毒物又は劇物を貯蔵するタンク、ドラムかん、その他の容器は、毒物又は劇物が飛散し、漏れ、又はしみ出るおそれのないものであること。
- c 毒物又は劇物とその他の物とを区分して貯蔵できるものであること。

下欄

1	(a、b)	2	(a、c)	3	(b、c)	4	(a、b、c)
---	-------	---	-------	---	-------	---	---------

(11) 次の文は、特定毒物に関する記述である。記述の正誤について、正しい組合せを下欄から選びなさい。

- a 特定毒物研究者は、特定毒物を学術研究以外の用途に供してはならない。
- b 特定毒物研究者は、特定毒物を輸入してはならない。
- c 特定毒物を所持することができるのは、特定毒物研究者又は特定毒物使用者のみである。
- d 特定毒物使用者は、品目や用途に制限を受けることなく特定毒物を使用することができる。

下欄

	a	b	c	d
1	正	誤	誤	誤
2	正	誤	正	誤
3	誤	正	正	正
4	誤	正	誤	誤

(12) 次の文は、毒物及び劇物取締法及び同法施行規則の条文の一部である。条文中の（ ）の中に入る語句の正しい組合せを下欄から選びなさい。

法第13条

毒物劇物営業者は、政令で定める毒物又は劇物については、厚生労働省令で定める方法により着色したものでなければ、これを（ a ）として販売し、又は授与してはならない。

規則第12条

法第13条に規定する厚生労働省令で定める方法は、あせにくい（ b ）で着色する方法とする。

下欄

	(a)	(b)
1	農業用	黒色
2	工業用	黒色
3	工業用	赤色
4	農業用	赤色

問4 次の(13)～(16)の設問について答えなさい。

(13) 次の記述のうち、毒物及び劇物取締法第7条及び第10条の規定に基づく届出として、正しいものの組合せを下欄から選びなさい。

- a 毒物劇物営業者は、製造所、営業所又は店舗の名称を変更したときは、30日以内に届け出なければならない。
- b 毒物劇物営業者は、毒物劇物取扱責任者を置いたときは、15日以内に届け出なければならない。
- c 毒物劇物営業者は、毒物又は劇物を製造し、貯蔵し、又は運搬する設備の重要な部分を変更したときは、30日以内に届け出なければならない。

下欄

1	(a、b)	2	(a、c)	3	(b、c)	4	(a、b、c)
---	-------	---	-------	---	-------	---	---------

(14) 毒物及び劇物取締法施行令第40条の9の規定により、毒物劇物営業者が毒物又は劇物を販売し、又は授与する時まで、譲受人に対し、提供しなければならない情報の内容について、正しいものの組合せを下欄から選びなさい。

- a 漏出時の措置
- b 火災時の措置
- c 盗難・紛失時の措置
- d 情報を提供する毒物劇物取扱責任者の氏名

下欄

1	(a、b)	2	(a、c)	3	(b、d)	4	(c、d)
---	-------	---	-------	---	-------	---	-------

(15) 次の文は、毒物及び劇物取締法第22条第1項の規定に基づく届出が必要な業務上取扱者に関する記述である。正しいものの組合せを下欄から選びなさい。

- a 届出を要する事業として、最大積載量が5,000kg以上の自動車に固定された容器を用いて、毒物又は劇物を運送する事業がある。
- b 業務上取扱者の届出事項に、事業場の所在地がある。
- c 毒物及び劇物取締法第7条に規定する毒物劇物取扱責任者を設置する必要はない。
- d 6年ごとに、業務上取扱者の届出をしなければならない。

下欄

1	(a、b)	2	(a、d)	3	(b、c)	4	(c、d)
---	-------	---	-------	---	-------	---	-------

(16) 毒物及び劇物取締法第13条の2で規定されている「毒物又は劇物のうち主として一般消費者の生活の用に供されると認められるものであって政令で定めるもの（劇物たる家庭用品）」として同法施行令別表第1の上欄に掲げられている物として、正しいものの組合せを下欄から選びなさい。

- a 水酸化ナトリウム又は水酸化カリウムを含有する製剤たる劇物（家庭用の洗浄剤で液体状のものに限る。）
- b 塩化水素又は硫酸を含有する製剤たる劇物（住宅用の洗浄剤で液体状のものに限る。）
- c ジメチル-2,2-ジクロロビニルホスフェイト（別名DDVP）を含有する製剤（衣料用の防虫剤に限る。）

下欄

1	(a、b)	2	(a、c)	3	(b、c)	4	(a、b、c)
---	-------	---	-------	---	-------	---	---------

問5 次の文は、毒物及び劇物取締法の条文の一部である。条文中の（ ）の中に入る語句として正しいものを下欄から選びなさい。

第8条

次の各号に掲げる者でなければ、前条の毒物劇物取扱責任者となることができない。

- 一 薬剤師
- 二 厚生労働省令で定める学校で、（ (17) ）に関する学課を修了した者
- 三 都道府県知事が行う毒物劇物取扱者試験に合格した者
- 2 次に掲げる者は、前条の毒物劇物取扱責任者となることができない。
 - 一 （ (18) ）未満の者
 - 二 心身の障害により毒物劇物取扱責任者の業務を適正に行うことができない者として厚生労働省令で定めるもの
 - 三 麻薬、（ (19) ）、あへん又は覚せい剤の中毒者
 - 四 毒物若しくは劇物又は薬事に関する罪を犯し、罰金以上の刑に処せられ、その執行を終り、又は執行を受けることがなくなった日から起算して（ (20) ）を経過していない者

下欄

(17)	1 毒性学	2 生物学	3 基礎化学	4 応用化学
(18)	1 14歳	2 16歳	3 18歳	4 20歳
(19)	1 向精神薬	2 シンナー	3 指定薬物	4 大麻
(20)	1 1年	2 3年	3 5年	4 10年

令和3年度毒物劇物取扱者試験問題	特定品目	基礎化学
------------------	------	------

問6 次の各問(21)～(24)について、最も適当なものを下欄から選びなさい。

(21) 純物質のうち、単体でないものはどれか。

下欄

1 ダイヤモンド	2 黒鉛	3 オゾン	4 アンモニア
----------	------	-------	---------

(22) 電気陰性度の最も小さい元素はどれか。

下欄

1 O	2 F	3 Na	4 Cl
-----	-----	------	------

(23) 遷移元素はどれか。

下欄

1 C	2 Mg	3 Ar	4 Cu
-----	------	------	------

(24) 2.0%の塩化ナトリウム水溶液 50g と 8.0%の塩化ナトリウム水溶液 150g を混合した溶液の質量パーセント濃度は、()%である。

() 内にあてはまる最も適当なものはどれか。

下欄

1 5.0	2 6.5	3 7.0	4 13
-------	-------	-------	------

問7 次の各問 (25) ~ (28) について、最も適当なものを下欄から選びなさい。

(25) 光学異性体をもたない物質はどれか。

下欄

1	チロシン	2	グリシン	3	システイン	4	アラニン
---	------	---	------	---	-------	---	------

(26) 「同温・同圧のもとでは、どの気体も、同体積中に同数の分子を含む。」
という法則を () という。
() 内にあてはまる最も適当なものはどれか。

下欄

1	ヘンリーの法則	2	シャルルの法則
3	アボガドロの法則	4	ボイル・シャルルの法則

(27) 水酸化鉄 (III) のコロイド溶液に横から強い光を当てると、光の通路を
はっきりと観察できる。これを () という。
() 内にあてはまる最も適当なものはどれか。

下欄

1	チンダル現象	2	ブラウン運動
3	透析	4	電気泳動

(28) pHに関する記述のうち、誤っているものはどれか。

下欄

1	電離度を1としたとき、pH 2の塩酸を水で1000倍に薄めるとpH 5になる。
2	酸性の水溶液では、 $[H^+] < 1.0 \times 10^{-7} \text{ mol/L} < [OH^-]$ となっている。
3	少量の酸や塩基を加えてもpHがほぼ一定に保たれる性質を緩衝作用という。
4	0.010 mol/Lの硫酸のpHは、同濃度の硝酸のpHより小さい。

問8 次の各問(29)～(32)について、最も適当なものを下欄から選びなさい。

(29) ある質量の水酸化カリウムを蒸留水に溶かして1,000mLとした。この水酸化カリウム水溶液80mLをビーカーにとり、0.10mol/Lの硫酸で滴下したところ、ちょうど24.0mLで中和した。最初に溶かした水酸化カリウムの質量はどれか。ただし、原子量は、H=1、O=16、S=32、K=39とする。

下欄

1	0.840 g	2	1.68 g	3	3.36 g	4	28.0 g
---	---------	---	--------	---	--------	---	--------

(30) 三重結合をもつ分子はどれか。

下欄

1	酸素	2	エチレン	3	アセチレン	4	アンモニア
---	----	---	------	---	-------	---	-------

(31) 炭酸ナトリウム十水和物の結晶を乾いた空气中に放置すると、水和水の一部を失い、白色の粉末となる現象を()という。
()内にあてはまる最も適当なものはどれか。

下欄

1	風解	2	昇華	3	潮解	4	融解
---	----	---	----	---	----	---	----

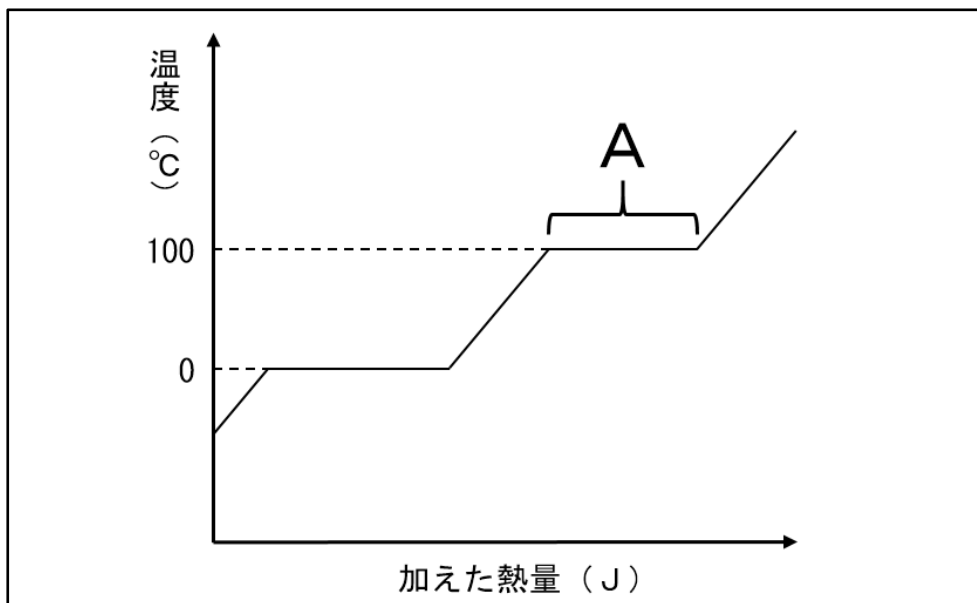
(32) 次の変化で、下線を付けた元素が還元されたものはどれか。

下欄

1	<u>C</u> l ₂ → H <u>C</u> lO	2	H ₂ <u>O</u> ₂ → <u>O</u> ₂
3	H <u>C</u> l → C a <u>C</u> l ₂	4	K <u>M</u> nO ₄ → <u>M</u> nO ₂

問9 次の各問 (33) ~ (36) について、最も適当なものを下欄から選びなさい。

(33) 下の図は、 $1.01 \times 10^5 \text{ Pa}$ (1 atm) の下で、水に熱を外部から加えたときの温度変化を示したものである。図のAの部分で吸収される熱量を何というか。



下欄

1 溶解熱	2 融解熱	3 昇華熱	4 蒸発熱
-------	-------	-------	-------

(34) 次の記述について、() の中に入る語句の正しい組合せはどれか。
 なお、同じ記号の () 内には同じ語句が入る。

鉛蓄電池は、希硫酸中に (a) と (b) を離して浸したものであり、(a) が正極、(b) が負極となる。

鉛蓄電池は充電して再使用できるが、ボルタ電池や乾電池などのように充電することができない電池を (c) 電池という。

下欄

	(a)	(b)	(c)
1	二酸化鉛	鉛	二次
2	鉛	二酸化鉛	一次
3	二酸化鉛	鉛	一次
4	鉛	二酸化鉛	二次

- (35) 一定温度において、200kPa の酸素 8.0 L と 400kPa の窒素 6.0 L を、5.0 L の容器に封入したとき、この混合気体の全圧として、最も適当なものはどれか。

下欄

1	214 kPa	2	458 kPa	3	600 kPa	4	800 kPa
---	---------	---	---------	---	---------	---	---------

- (36) 25.2 g の炭酸水素ナトリウムを熱分解したときに発生する二酸化炭素は、標準状態で何 L か。ただし、原子量は、H=1、C=12、O=16、Na=23 とし、標準状態での気体 1 mol の体積は、22.4 L とする。また、このとき起こる反応は、次の化学反応式で表されるものとする。



下欄

1	0.560 L	2	3.36 L	3	6.72 L	4	13.4 L
---	---------	---	--------	---	--------	---	--------

問 10 次の各問 (37) ~ (40) について、最も適当なものを下欄から選びなさい。

(37) ヨードホルム反応を起こさない物質はどれか。

下欄

1	アセトアルデヒド	2	メタノール
3	エタノール	4	2-プロパノール

(38) 次の有機化合物と、その有機化合物のもつ官能基の組合せとして、正しいものはどれか。

下欄

	有機化合物	その有機化合物のもつ官能基
1	フェノール	ヒドロキシ基
2	アセトン	カルボキシ基
3	安息香酸	スルホ基
4	アニリン	ニトロ基

(39) 次の物質の中で、最も水に溶けやすいものはどれか。

下欄

1	ナフタレン	2	クロロホルム
3	ジエチルエーテル	4	アセトン

(40) 次の記述について、() の中に入る語句の正しい組合せはどれか。

アミノ酸は、((a)) 水溶液と反応して ((b)) 色を呈することから、この反応は、アミノ酸の検出に利用されている。

下欄

	(a)	(b)
1	ニンヒドリン	紫
2	アンモニア性硝酸銀	紫
3	ニンヒドリン	黄
4	アンモニア性硝酸銀	黄

令和3年度毒物劇物取扱者試験問題	特定品目	性状・貯蔵・取扱方法
------------------	------	------------

問 11 次の物質の常温・常圧下における性状として、最も適当なものを下欄から選びなさい。

- (41) 四塩化炭素
- (42) 酢酸エチル
- (43) 塩素
- (44) クロム酸バリウム

下欄

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 1 黄色の粉末で、水にほとんど溶けない。 2 揮発性、無色の重い液体で、不燃性である。 3 窒息性の臭気をもつ黄緑色の気体である。 4 無色透明、揮発性の引火性液体で、果実様の芳香がある。 |
|---|

問 12 次の物質の貯蔵方法として、最も適当なものを下欄から選びなさい。

- (45) トルエン
- (46) クロロホルム
- (47) 過酸化水素水
- (48) 水酸化カリウム

下欄

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 1 純品は空気と日光によって分解するため、少量のアルコールを加えて冷暗所に貯蔵する。 2 二酸化炭素と水を吸収する性質が強いので、密栓して貯蔵する。 3 引火しやすく、また、その蒸気は空気と混合して爆発性混合ガスとなるため、火気を遠ざけて貯蔵する。 4 直射日光を避け、少量ならば褐色ガラス瓶、大量ならばカーボイなどを使用し、3分の1の空間を保って冷所に貯蔵する。 |
|---|

問 13 次の物質を含有する製剤は、毒物及び劇物取締法令上ある一定濃度以下で劇物から除外される。その除外される上限の濃度として、最も適当なものを下欄からそれぞれ選びなさい。

(49) 過酸化水素

下欄

1	1%	2	5%	3	6%	4	10%
---	----	---	----	---	----	---	-----

(50) ホルムアルデヒド

下欄

1	1%	2	5%	3	6%	4	10%
---	----	---	----	---	----	---	-----

(51) アンモニア

下欄

1	1%	2	5%	3	6%	4	10%
---	----	---	----	---	----	---	-----

(52) 塩化水素

下欄

1	1%	2	5%	3	6%	4	10%
---	----	---	----	---	----	---	-----

問 14 次の物質の化学式として、最も適当なものを下欄から選びなさい。

(53) メチルエチルケトン

(54) 硝酸

(55) ホルムアルデヒド

(56) 蓚酸^{しゅう}

下欄

1	(COOH) ₂	2	HNO ₃	3	HCHO	4	CH ₃ COC ₂ H ₅
---	---------------------	---	------------------	---	------	---	---

問 15 次の物質の毒性として、最も適当なものを下欄から選びなさい。

- (57) 蓚酸^{しゅう}
- (58) メタノール
- (59) 硝酸
- (60) トルエン

下欄

- 1 蒸気の吸入により頭痛、食欲不振等がみられる。大量では緩和な大赤血球性貧血をきたす。麻醉性が強い。
- 2 血液中の石灰分を奪取し、神経系を侵す。急性中毒症状は、胃痛、嘔吐^{おうと}、口腔^{くわう}・咽喉^{いんこう}に炎症を起こし、腎臓が侵される。
- 3 頭痛、めまい、嘔吐^{おうと}、下痢、腹痛等を起こし、致死量に近ければ麻醉状態になり、視神経が侵され、目がかすみ、ついには失明することがある。
- 4 高濃度の当該物質の水溶液が皮膚に触れると、ガスを発生して、組織ははじめ白く、しだいに深黄色となる。

令和3年度毒物劇物取扱者試験問題	特定品目	実地
------------------	------	----

問 16 次の物質の用途として、最も適当なものを下欄から選びなさい。

- (61) ホルマリン
- (62) 四塩基性クロム酸亜鉛
- (63) 過酸化水素水
- (64) 硝酸

下欄

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 1 ポリアセタール樹脂の原料、メラミン樹脂の原料 2 漂白剤 3 ニトロ化合物の原料、冶金 4 さび止め下塗り塗料用 |
|---|

問 17 次の物質の鑑別方法として、最も適当なものを下欄から選びなさい。

- (65) メタノール
- (66) 硫酸
- (67) 水酸化ナトリウム
- (68) クロロホルム

下欄

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 1 希釈水溶液に塩化バリウムを加えると、白色の沈殿を生じるが、この沈殿は塩酸や硝酸に溶けない。 2 あらかじめ強熱した酸化銅を加えると、ホルムアルデヒドができ、酸化銅は還元されて金属銅色を呈する。 3 本物質の水溶液を白金線につけて無色の火炎中に入れると、火炎は著しく黄色に染まり、長時間続く。 4 レゾルシンと33%の水酸化カリウム溶液と熱すると黄赤色を呈し、緑色の蛍石彩を放つ。 |
|--|

問 18 毒物及び劇物の品目ごとの具体的な廃棄方法として厚生労働省が定めた「毒物及び劇物の廃棄の方法に関する基準」に基づき、次の毒物又は劇物の廃棄方法として、最も適当なものを下欄から選びなさい。

- (69) 一酸化鉛
- (70) クロム酸ナトリウム
- (71) 塩素
- (72) ホルマリン

下欄

- | | | | |
|---------|---------|-------|---------|
| 1 還元沈殿法 | 2 固化隔離法 | 3 酸化法 | 4 アルカリ法 |
|---------|---------|-------|---------|

問 19 毒物及び劇物の運搬事故時における応急措置の具体的な方法として厚生労働省が定めた「毒物及び劇物の運搬事故時における応急措置に関する基準」に基づき、次の毒物又は劇物が多量に漏えいした際の措置として、最も適当なものを下欄から選びなさい。

- (73) メタノール
- (74) キシレン
- (75) 液化塩化水素
- (76) 硫酸

下欄

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1 漏えいした液は、土砂等でその流れを止め、安全な場所に導き、多量の水で十分に希釈して洗い流す。この場合、濃厚な廃液が河川等に排出されないように注意する。2 漏えいした液は、土砂等でその流れを止め、安全な場所に導き、液の表面を泡で覆い、できるだけ空容器に回収する。3 漏えいしたガスは、多量の水をかけて吸収させる。多量にガスが噴出する場合は遠くから霧状の水をかけ吸収させる。この場合、濃厚な廃液が河川等に排出されないよう注意する。4 漏えいした液は、土砂等でその流れを止め、これに吸着させるか、又は安全な場所に導いて、遠くから徐々に注水してある程度希釈したあと、消石灰、ソーダ灰等で中和し、多量の水を用いて洗い流す。この場合、濃厚な廃液が河川等に排出されないよう注意する。 |
|---|

問 20 次の物質の毒物及び劇物取締法施行令第40条の5第2項第3号に規定する厚生労働省令で定める保護具として、()内にあてはまる最も適切なものを下欄からそれぞれ選びなさい。

(77) 硫酸及びこれを含有する製剤（硫酸10%以下を含有するものを除く。）で液体状のもの

保護具：保護手袋、保護長ぐつ、保護衣、((77))

下欄

1 酸性ガス用防毒マスク	2 有機ガス用防毒マスク
3 普通ガス用防毒マスク	4 保護眼鏡

(78) 塩素

保護具：保護手袋、保護長ぐつ、保護衣、((78))

下欄

1 酸性ガス用防毒マスク	2 有機ガス用防毒マスク
3 普通ガス用防毒マスク	4 保護眼鏡

(79) 硝酸及びこれを含有する製剤（硝酸10%以下を含有するものを除く。）で液体状のもの

保護具：保護手袋、保護長ぐつ、保護衣、((79))

下欄

1 酸性ガス用防毒マスク	2 有機ガス用防毒マスク
3 普通ガス用防毒マスク	4 保護眼鏡

(80) 水酸化カリウム及びこれを含有する製剤（水酸化カリウム5%以下を含有するものを除く。）で液体状のもの

保護具：保護手袋、保護長ぐつ、保護衣、((80))

下欄

1 酸性ガス用防毒マスク	2 有機ガス用防毒マスク
3 普通ガス用防毒マスク	4 保護眼鏡

